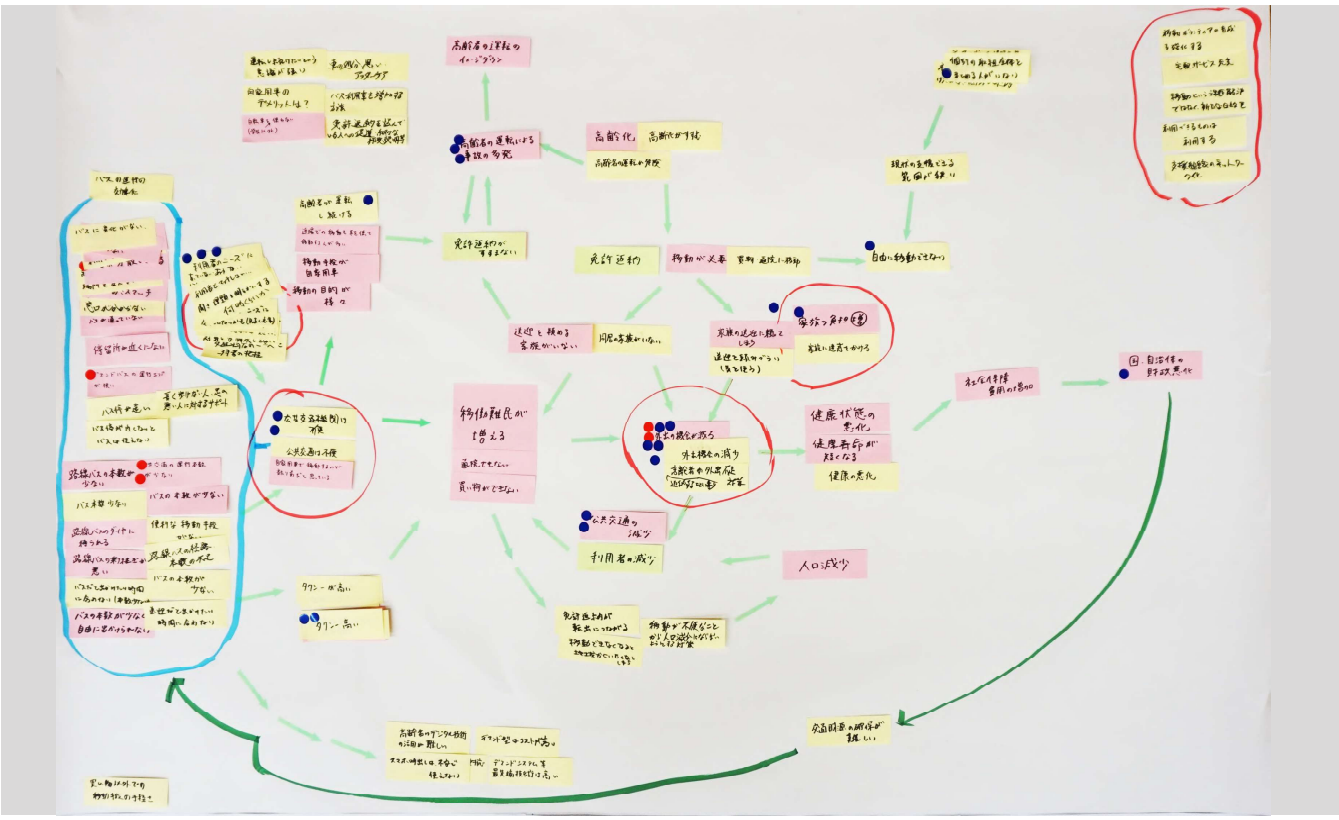
話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

免許返納が進んで自家用車が利用できない人が増える地域での移動手段の確保	自治体名 沼田市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 時代やニーズに合った運行がされていない

公共交通機関は不便だと言われる事業者が、
住民の抱えている課題やニーズを知ることで
従来の運行形態を見直す
きっかけとするために、何が可能か？

2 自家用車に依存している

自家用車に依存している高齢者が、
自家用車の維持費を知ることで、
公共交通手段へ気持ちよく
お金を払うために、何が可能か？

3 外出機会の減少

公共交通が不便で利用しない
高齢者をはじめとした地域住民が、
公共交通を利用して、地域の人たちと
交流することで、公共交通を利用したくなる
ために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

FUTURE

データ分析による運行ニーズの把握及び運行形態の最適化	沼田市内の住民が、車を運転する時に、住民・事業者・市役所が協力して、交通安全アプリで収集したデータを調査・分析する。得られた分析結果に基づき、現在の運行形態を見直し、デマンドバスを導入する。デマンドバスのルートを AI を使って、最適化する。将来的に（高齢者のみならず、子どもを含め）送迎バスへの活動につなげる。
のりほー	地域内の高齢者を含む住民のための定額公共交通乗り放題サービス。定額の循環線を考え、自家用車家計簿や、バスの利用に応じた tengo の付与（アプリ）、Tengoo の運賃への利用につなげる。
バスに馴染みをバスコン沼田	秋頃から冬頃（紅葉シーズン～スキーシーズン）に、利根沼田地域の観光名所などで、未婚の男女（25 歳～45 歳くらい）（晩婚世代は 45～60 歳くらい）が、観光名所を路線バスでめぐり、見物や食事をする。バスガイドさんによる名所クイズ、カップリングにより、バスに馴染みを持ってもらい、利用につなげる。将来的に、沼田市への定住に興味を持ってもらい、高齢者を支える層の増加につなげる。